

キッズ本格おしごと体験報告

日程:2022年8月13日(土)

時間:10:00~17:00 ※最終受付 16:30

場所:イオンモール扶桑 1F セントラルコート

令和4年8月13日扶桑町のイオンモールで「キッズ本格おしごと体験」を行いました。台風の影響があったものの、お盆の時期でもあり、子ども169人とその家族の方と、多くの方に来場いただきました。



「キッズ本格おしごと体験」の大まかな内容としては、まず総合受付で当日の出店ブース(土地家屋調査士、海上保安庁、民間企業)の参加チケット(3種一組)が配布されます。来場者はその参加チケットがあれば、順番や参加時間帯を自由に決めて、参加することができます。すべてのブースのチケットが配布されるので、初めて知る職種・馴染みのない職種についても触れられる良い機会となりました。

土地家屋調査士のブースは、当日は「測量」という職種で紹介されました。ブース内では各種境界標や、絵本「じめんのボタンのナゾ」、トータルステーションを置き、実際に手に取っていただきました。ブース内では、来場者(大人も子供も)に境界標を見てもらい、家の周りや通学路等にあって、それらを設置しているのが、私たち土地家屋調査士であること、また絵本「じめんのボタンのナゾ」は境界標に興味を持った小学生がまとめたことを説明しました。

実際にトータルステーションの操作も体験していただきました。大人も子供もトータルステーションを操作するのは初めての方ばかりで、時間を忘れて滞在される方もいらっしゃいました。

今回の「キッズ本格おしごと体験」に参加した感想は、土地家屋調査士のPRとしては、有効であると感じました。来場者の多くは、未就学~小学校高学年のお子さん、そして20代、30代の親御さんでした。20代、30代の家族となれば、マイホームのための土地購入の検討などで、宅地・住宅に関心が高くなり始めるころです。また、多くの土地家屋調査士は独立開業をしており、つまりは転職して土地家屋調査士になっているので、お子さんを通し、20代、30代の方に土地家屋調査士の仕事を知っていただくことは、私たち調査士の認知度を上げ、もしかしたら、将来の受験者増につながっていくのではないかと感じました。

(企画広報部理事 佐野 潤)

